

# 検討事項 1

## 地域自治区振興事業の評価について【継続】

前回（第2回=H20.6.27）の検討結果から

浜益区民コミュニティ普及推進事業（区民カレンダー製作）

### [ 評価の視点 ]

区民の一体感の醸成が図られたか？  
地域コミュニティの推進が図られたか？  
地域づくりに寄与したか？

- ・生活と一体、生活の一部になっている。メモしたり、大切な印刷物を挟んだり、貼り付けたり。
- ・主婦の立場からはゴミの情報が助かる。
- ・高齢者は入浴サービスの日程が直ぐ分かる。無くなれば余計引きこもりがちになる。  
など



配付は世帯毎ではあるが、製作回数を重ねる度に活用は全世帯員に広がりつつあり、今では生活必需品的な位置づけにある。（各家庭の共有話題）

製作にあたっては区内各種団体からの代表者等で構成する実行委員会が組織され、行政が各種行事や暮らしに役立つ情報などを提供し、区民がカレンダーの特色でもある懐古写真を提供するなど、官民連携による取り組みとなっている。

行政と区民との情報の共有により行政への関心（参加）意識、連帯感の高揚が図られるなど地域の一体感が育まれ、地域コミュニティの一層の推進による地域づくりに寄与している。

### [ 事業継続に関する視点 ]

区民ニーズがあるか？類似事業など  
継続する妥当性があるか？  
代替になり得る事業がないか？  
課題や改善事項はあるか？

- ・続けて欲しい。継続すべき。
- ・自己負担しても続けて欲しいという声も聴いている。  
など



継続的な製作を望む声が圧倒的に多い。

官民連携による取り組みであり、一体感の醸成を図る観点からも継続することが妥当である。

中長期的な継続を考慮し、今後、自主製作の道を探る検討をすることも視野に入れていく必要がある。

# 検討事項 1

浜益区民スポーツフェスティバル事業（スポーツフェスティバル<夏・冬>開催）

## [ 評価の視点 ]

健康増進が図られたか？  
地域住民の交流が図られたか？

- ・参加人数は少ないが毎回楽しみにしている子ども達があり、貴重なイベントである。
  - ・数少ない運動と交流の機会である。特に冬場は運動不足がちである。
  - ・具体的な成果が見えない。
- など



## [ 事業継続に関する視点 ]

区民ニーズがあるか？類似事業など  
継続する妥当性があるか？  
代替になり得る事業がないか？  
課題や改善事項はあるか？

- ・1年でもやめたらずっとやめてしまう。浜益らしさ（趣向を凝らして）で継続して欲しい。
  - ・雪像づくりなど広く（高齢者も）参加できるように趣向を凝らす。（冬季）
  - ・スキー大会（冬季）だけでは高齢者の参加は難しい。
  - ・役（実行委員）を降りた時点から自分も参加しなくなった。以前から無理にやっている雰囲気もある。近くの人しか参加しない。継続する意味があるのか。
  - ・これから益々若い人、子ども達が減って高齢者ばかりに。喜ぶ人が誰もいなくなる。
  - ・スキー場も無くなりスキー少年団の動向次第では。（特に冬季は少年団が主力）
  - ・内容的、回数的に毎年やらなければならないのか。やるなら形を変えて内容も変える必要があるのでは。
- など

